

# I 活力あるしまね

## 2. 自然が育む資源を活かした産業の振興

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	要 部局名
15		新規就農者等育成確保推進事業	当初要求 570,917 ↓ 査定 570,917 <small>[うちH27.2補正計上]</small> 250,667	農業の担い手を育成・確保するため、自営や雇用就農の増加対策を総合的に展開 ①U I ターン希望者に対し、県と市町村で協力して就農条件と生活環境をパッケージで提案 ②農業高校と地域の関係機関との連携を図る専任のコーディネーターを配置し、卒業後の就農を支援 ③自営や半農半Xによる新規就農、新たな雇用を創出する農業法人等の施設設備整備を支援 <small>[助成率] 1/3</small> <small>[助成対象事業費上限額]</small> ・自営就農 3,000万円 ・半農半X 300万円 ・農業法人 1,000万円 ・農業参入企業 3,600万円 など ④自営就農等の研修受入先となる農家に研修経費を助成 <small>[助成額] 定額 3万円/月・人</small> ⑤45歳未満で就農する者(青年)に対して、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため給付金を交付(国制度) ・就農前研修 150万円/年、最長2年間 ・自営就農後 150万円/年、最長5年間 ⑥U I ターン者(半農半X又は45歳以上の自営就農)への就農前研修費助成 12万円/月、1年間 ⑦U I ターン者(半農半X)への就農後定住・定着助成 12万円/月、1年間 ⑧人材派遣会社を活用して就農希望者を担い手として集落に派遣 ⑨しまねアグリビジネス実践スクールで経営力向上のための若手農業者研修、女性農業者研修を実施 ⑩障がい者福祉施設の職業指導者に対する農作業の指導方法の研修等を実施 <b>【新規】</b>	農林水産部 [農業経営課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
16		水田農業緊急総合支援対策	当初要求 97,788 ↓ 査定 97,396	<p>米価下落により厳しい経営環境におかれている稲作担い手農家が営農を継続するために必要な対策を体系化し、総合的に支援</p> <p>①販売力強化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根米が産地間競争に勝ち残るため、契約的取引の拡大に向けた販売力強化等の取組を推進 <b>【新規】</b></li> </ul> <p>[具体的な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中食を中心とした業務用販売の展開</li> <li>・特色ある「こだわり米」の育成</li> <li>・JAグループ等と連携し、島根米の食味・品質のレベルアップを推進</li> </ul> <p>②生産支援</p> <p>主食用米及び飼料用米等の低コスト生産技術導入、飼料用米等の流通・保管体制整備を支援</p> <p>③経営安定対策</p> <p>国の経営所得安定対策(ナラシ対策)の加入要件である集落営農化を支援</p> <p>④地域貢献型集落営農連携・強化支援事業</p> <p>集落の維持・活性化に貢献する「地域貢献型集落営農組織」の育成、UIターン者を含めた雇用の受け皿づくりとなる取組を支援</p>	農林水産部 [農業経営課] [農産園芸課]
17		園芸産地再生担い手育成事業	当初要求 64,979 ↓ 査定 64,979	<p>園芸産地の担い手育成や生産規模の拡大のため、JA等がリースハウスを建設し、担い手にリースする場合、リース料の一部を支援</p> <p>[事業主体] JA等</p> <p>[リース料の助成率]</p> <p>1～3年目 1/2以内</p> <p>4～5年目 1/3以内</p> <p>[事業期間] H26～28</p>	農林水産部 [農産園芸課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
18	新規	しまねの西条柿（あんぽ柿）もうける産地育成事業	当初要求 36,300 ↓ 査定 48,000	<p>市場ニーズの高い西条柿の干し柿（あんぽ柿）の生産増進のため、原料の安定供給体制の確立とあんぽ柿加工施設の整備を支援</p> <p>① J A等が西条柿のリース団地を整備し農業者にリースする場合にリース料の一部を補填し、農業者の負担を軽減 [事業主体] J A、市町村、農地中間管理機構等 [リース料の助成率] 1～3年目 1/2以内 4～5年目 1/3以内</p> <p>② J A等があんぽ柿の広域拠点加工施設を整備する場合に経費の一部を助成 [事業主体] J A、市町村 [助成率] 1/3以内</p>	農林水産部 [農産園芸課]
19		将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト	当初要求 51,927 ↓ 査定 51,927	<p>島根の農林水産業を発展させるための将来を見据えた先導的な研究開発を実施 [研究内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロンやブドウ、食用きのこの新品種開発</li> <li>・有機栽培支援技術の確立</li> <li>・宍道湖・中海の環境対策と資源活用技術の開発</li> <li>・木質バイオマス等、家畜排泄物の活用システムの開発</li> </ul> <p>[事業期間] H27～29</p>	農林水産部 [農林水産総務課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
20		みんなでひろげる「しまね有機の郷」事業	当初要求 53,197 ↓ 査定 53,197	<p>有機農業の拡大のための地域活動、生産者等の機械設備整備、U I ターン者等の受入れによる担い手育成、定住化の取組を支援</p> <p>①地域・民間の取組を支援 [事業主体] 農業者、流通販売者、加工業者、地域協議会等 [助成率] ・生産者支援、流通・販売者支援 ソフト 1/2、ハード 1/3 ・地域活動支援 上限100万円/協議会</p> <p>②推進事業 ・首都圏でのPR、テスト販売 ・農林大学校で有機農業研修を実施 ・有機栽培技術向上を支援 ・有機JAS認証取得支援</p>	農林水産部 [農産園芸課]
21		安全で美味しい島根県産品認証事業	当初要求 11,557 ↓ 査定 11,557	<p>県独自の基準に基づく認証制度の運用により、県産農畜林水産物の安全の確保と消費者の信頼づくりを促進し、市場での競争力を強化</p> <p>①認証審査、指導員資質向上対策 ②認証制度の普及啓発</p>	農林水産部 [農産園芸課]
22	新規	産地パワーアップ事業	当初要求 500,000 ↓ 査定 500,000	<p>農産物生産の収益力向上に計画的に取り組む農業者等に対し、高収益な作物等への転換に必要な施設整備、機械・機器のリース導入を支援</p>	農林水産部 [農産園芸課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
23		地域貢献型集落営農 連携・強化支援事業	当初要求 53,600 ↓ 査定 53,600	<p>集落の維持・活性化に貢献する「地域貢献型集落営農組織」の育成、UIターン者を含めた雇用の受け皿づくりとなる取組を支援 (No.16一部再掲)</p> <p>①育成・確保支援事業 ・組織の法人化を支援 [助成率] ソフト 定額、ハード 1/3</p> <p>②経営多角化・地域貢献活動支援事業 ・米以外の地域資源や人材をフル活用し農業を基盤とした「小さな起業」を支援 [助成率] 小さな起業・人材確保 2/3 ・経営多角化、担い手不在集落のサポート活動支援 [助成率] ソフト 1/2、ハード 1/3</p> <p>③組織間連携・ネットワーク化支援事業 複数の組織等が連携して行う農作業の協同化、事業拡大、人材の確保や地域貢献活動を支援 [助成率] 農作業の協同化等 ソフト 1/2、ハード 1/3</p> <p>④フォローアップ支援事業 農業再生協議会 (担い手部会) 等が実施するフォローアップ活動を支援</p>	農林水産部 [農業経営課]
24		農地利用集積促進事業	当初要求 577,556 ↓ 査定 577,556	<p>担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速化するため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構の活動を支援</p> <p>・農地中間管理機構運営費 ・農地の「出し手」への協力金</p>	農林水産部 [農業経営課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
25		「しまね和牛」振興 対策事業	当初要求 175,389 ↓ 査定 175,389	飼育農家の高齢化による飼育戸数・頭数の減少及び枝肉上物率低迷などの課題解決に取り組む繁殖農家等を支援 ①中核畜産施設整備支援 JA等と連携し、共同繁殖牛管理施設・共同子牛育成施設の整備による生産力の向上を支援 [事業主体] JA等 [助成率] 1/3 [事業期間] H27～29 ②集落営農放牧実践支援 JA等が集落営農組織等に繁殖雌牛を貸し出す目的で雌牛を購入する場合の経費の一部を助成 [事業主体] JA等 [助成率] 1/3 [事業期間] H26～29	農林水産部 [畜産課]
26		畜産競争力強化対策 事業	当初要求 500,000 ↓ 査定 500,000	畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体に対し、収益力の強化や家畜環境問題への対応に必要な施設の整備、家畜導入を支援	農林水産部 [畜産課]
27		産業動物臨床獣医師 確保支援事業	当初要求 3,000 ↓ 査定 3,000	県内の産業動物獣医師の安定確保を図るため、畜産団体が行う修学資金制度を支援 [新規募集期間] H26～28 [対象者] 産業動物獣医師を志す獣医系大学生 [募集人員] H28: 2人 [貸与額] 月額10万円 [貸与期間] 最大6年間 [償還免除] 貸与期間の1.5倍の期間、産業動物獣医師として勤務	農林水産部 [畜産課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
28		島根県獣医師確保緊急対策事業	当初要求 14,400 ↓ 査定 14,400	県職員獣医師の安定確保を図るため、修学資金を貸与 [対象者] 県職員業務に従事する意欲のある獣医系大学生 [募集人員] 4人 [貸与額] 月額10万円 [貸与期間] 最大6年間 [償還免除] 貸与期間の1.5倍の期間、県の機関で獣医師業務に従事	農林水産部 [畜産課]
29		家畜疾病危機管理対策事業	当初要求 200,000 ↓ 査定 200,000	高病原性鳥インフルエンザ、BSE、口蹄疫等の家畜疾病発生に備えた初動防疫活動や農家への損失補償経費を計上 ①初動防疫経費 消毒資材、焼埋却経費等 ②農家への損失補償 殺処分や移動制限に伴う損失補償 ③風評被害対策経費 消費者への情報提供や安全性のPR等	農林水産部 [畜産課]
30		循環型林業に向けた原木生産促進事業	当初要求 102,750 ↓ 査定 102,750	利用期を迎えた森林の主伐を促進し、県産原木の生産を増加させるため、伐採後の搬送経費の一部を助成 [事業期間] H27~29 [助成対象者] 主伐した後に再造林する森林所有者 [助成率] 定額 620円/m <sup>3</sup> [H28助成見込原木量] 162千m <sup>3</sup>	農林水産部 [林業課]
31	新規	林業・木材産業成長基盤づくり事業	当初要求 974,268 ↓ 要求見直し 1,974,483 ↓ 査定 1,974,483	循環型林業の実現に向けて、森林整備から木材の伐採・搬出・利用までの一体的な取組を支援 作業道整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設整備、木質バイオマス関連施設整備、木造公共施設整備等	農林水産部 [林業課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
32		木質バイオマス県内 全域集荷体制支援事 業	当初要求 54,000 ↓ 査定 54,000	木質バイオマス発電施設等の燃料となる 未利用木材等の効率的な集荷に必要な山土 場・作業道の整備費の助成や木質バイオ マス増産に伴う人材確保を支援 〔助成対象〕山土場、作業道の整備 〔助成率〕定額	農林水産部 〔林業課〕
33	新規	きのこの里づくり事 業	当初要求 45,000 ↓ 査定 45,000 〔うちH27.2補正計上〕 45,000	きのこ産地の増産、低コスト化に必要な 生産施設の新設・改修等に要する経費の一 部を助成 新たに開発したきのこの市場性を探るた め、試験的に栽培し、消費者ニーズ調査を 実施 ①生産出荷施設等の整備 〔対象者〕 きのこ生産者、J A、森林組合等 〔助成率〕1/3以内 〔事業期間〕H28～31 ②新品種導入実証事業 市場性のある新品種の栽培実証	農林水産部 〔林業課〕
34		林業担い手育成確保 対策事業	当初要求 65,824 ↓ 要求見直し 53,044 ↓ 査定 53,044 〔うちH27.2補正計上〕 27,209	新規林業就業者の確保と林業事業体にお ける林業従事者の育成に向けた施策を総合 的に推進 ・高校生やU I ターン者を対象とした現 場体験会等の開催 【新規】 ・林業事業体による高性能林業機械のO J T研修の実施 【新規】 ・林業の魅力向上に向けた林業事業体の 就労条件の改善の取組を支援 【新規】 ・林業への就業に向け、農林大学校で必 要な知識の習得等を行う若者に対して 就業準備給付金を支給 〔給付条件〕年間137.5万円/人 最大2年間 〔給付枠〕16人 〔給付対象〕農林大学校林業科の学生	農林水産部 〔林業課〕



(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
35		木の家ですくすく子育て応援事業	当初要求 120,000 ↓ 査定 100,000	「木育」の観点から、子育て世帯が県産木材を使用した住宅等の新築、増改築等を行う場合に工事費の一部を助成 [事業期間] H28～31 [助成対象] 子育て世帯 [H28助成戸数] 200戸程度 [助成上限額] ・新築 30万円(石州瓦加算7万円) ・増改築 15万円(石州瓦加算5万円) ・修繕、模様替え 10万円 ・上記に対し次のいずれかの場合10万円を加算 三世帯同居・近居、UIターン者、中山間地域・離島 [事業主体] 島根県木材協会	農林水産部 [林業課]
36	新規	浜田地区水産振興対策事業	債務負担行為	浜田漁港の水揚げ量の回復及び圏域の経済活性化に高い効果が見込まれる高度衛生管理型荷さばき施設の整備費の一部を助成 [事業主体] 浜田市 [事業期間] H28～32 [総事業費] 45億円 [支援内容] 国庫補助(補助率2/3)及び過疎対策事業債を活用した上で、市の実負担の1/2を助成 [債務負担行為] 設定額 225,000千円(H29～33)	農林水産部 [漁港漁場整備課]
37		浜田地域水産業構造改革推進事業	当初要求 75,000 ↓ 査定 75,000	浜田地域の水産業を支える沖合底びき網漁業について、地域協議会が漁船の長寿命化修繕を通じて行う漁獲物の品質向上や流通体制改善等の構造改革の取組を推進するため、浜田市が支援する経費の一部を助成 [事業期間] H24～29 [事業主体] 浜田地域水産業構造改革推進プロジェクト協議会 [助成率] 浜田市の助成額の1/2	農林水産部 [水産課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	要	部局名
38		離島漁業再生支援交付金事業	当初要求 138,044 ↓ 査定 138,044	町村が作成した離島漁業集落活動促進計画に基づき集落協定を締結した漁業集落に対し、離島漁業再生支援交付金を交付し、漁場の生産力の向上や漁業再生に関する取組を支援 [負担割合] 国1/2、県1/4、町村1/4		農林水産部 [水産課]
39		新規漁業就業者確保・育成事業	当初要求 10,063 ↓ 査定 10,063 [うちH27.2補正計上] 8,713	漁業就業者の育成確保に向けた施策を総合的に推進 ・自営漁業者を目指した漁業の専門的知識や漁労漁業技術の習得研修の実施 ・親元での研修を受け入れる漁業者に対して、研修に必要な経費を助成【新規】		農林水産部 [水産課]
40		「しまねの魚」消費拡大促進事業	当初要求 8,662 ↓ 査定 8,662	高鮮度等の高品質化により消費者に受け入れられる商品づくりや低利用魚を活用した特産加工品の開発及び消費拡大の取組を支援 [実施主体] JFしまね等 [助成率] ソフト事業 1/2以内 ハード事業 1/3以内		農林水産部 [水産課]
41		新農林水産振興がんばる地域応援総合事業	当初要求 241,000 ↓ 査定 241,000	「売れるものづくり・産地づくり」を中心に、地域の農林水産業が抱える課題の解決や改善に向けた提案型の取組及び雇用就農を促進するための農業法人等の事業拡大など、地域の主体的で戦略的な取組を支援(No.15、16、25、40一部再掲) 地域提案型フリープラン方式及びメニュー方式により、ソフト及びハード支援 [助成率] ソフト事業 1/2以内、定額 ハード事業 1/3以内		農林水産部 [農産園芸課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
42		6次産業推進事業	当初要求 174,808 ↓ 査定 174,453 <small>【うちH27.2補正計上】</small> 101,073	農山漁村の所得向上や雇用の拡大、地域活力の向上を図るため、島根県の豊富な地域資源を活用しながら、市町村や多様な事業者がネットワークを構築して取り組む新商品開発や販路開拓、農林水産物の加工・販売施設の整備等を支援 [助成率] ・新商品開発、販路開拓 市町村戦略型 2/3以内 事業者連携型 1/2以内 ・農林水産物の加工・販売のための機械・施設整備等 市町村戦略型 1/2以内 事業者連携型 1/3以内 [事業期間] H28～31	農林水産部 [しまねブランド推進課]
43		地産地消推進事業	当初要求 9,880 ↓ 査定 9,880	「島根県地産地消促進計画」に基づく取組を推進 ①「食」の総合ポータルサイトでの情報発信 ②「地産地消推進店」の普及 ③食品加工事業者による地元農林水産物の利活用の推進 ④販路拡大、観光誘客、賑わい創出を目的とした「マルシェ」の推進 ⑤観光関連施設（宿泊施設、飲料店等）での地元食材の活用推進 ⑥県産品展示商談会の開催、各圏域での取組推進	農林水産部 [しまねブランド推進課]

(単位:千円)

NO	区分	事業名	予算額	概要	部局名
44		県産品販路拡大事業	当初要求 48,297 ↓ 査定 48,297	県内工芸品、県産農林水産物及びその加工品などの販路拡大を図るため、大消費地を対象に事業者が取り組む販売促進活動を支援 ①未来へつなぐ工芸品総合振興事業 県内工芸品産業の販路拡大、担い手確保・育成、情報発信を総合的に支援 ②農林水産物の販路拡大事業 首都圏からのバイヤーの招致や県産品販売パートナー店を活用したフェアの開催等を支援 ③県産品ブラッシュアップ支援事業 消費者ニーズの商品開発への反映や商品コンセプトづくりを支援 ④ご縁の国しまね連携事業 観光キャンペーンと連携し、県産品の販路拡大を支援	農林水産部 商工労働部 [しまねブランド推進課]
45		T P P 協定合意を踏まえた対策	当初要求 2,334,494 ↓ 査定 2,333,747 <small>[うちH27.2補正計上]</small> 1,146,500	地域の特性に応じた対策の実施により、国内の産地間競争に対応できるよう、経営体の体質を強化 (No.16、22、23、25、26、41、42、43一部再掲) ①競争力のある経営体の育成 ・産地の特性を活かした収益力強化に必要な施設等の整備 ・担い手の生産基盤強化 ・中山間地域における集落営農の法人化・広域連携や「小さな起業」の促進 ②高品質米の契約的取引等による売れる米づくり ・つや姫、こだわり米の契約的取引の拡大に向けた販売力の強化 ・中食を中心とした業務用販売の展開 ③増頭等によるしまね和牛の生産基盤強化 ・収益力強化に必要な畜産施設等整備 ・共同子牛育成施設 (キャトルステーション) 等整備 ④地域資源の活用 ・6次産業の拡大	農林水産部 [農業経営課] [農産園芸課] [畜産課] [しまねブランド推進課] [農村整備課]